



おい かわ よし お
及川 善男
(日本共産党)

●江刺区内の診療所は存続すべきだ

質問 市長は施政方針で、職員

の士気やモラルの低下を指摘し、その要因として人件費の削減をあげている。そういう面もある

と思うが、職員の多くは公務員として市民の、全体の奉仕者として働く高い志と気概をもって職に就かれた方々だ。しかし現状は職員の創意や提案が受け入れられる体制ではなく、覇気や意欲が出にくいのではないか。際限のない市役所のダウンサイジングは職員を疲弊させ、結果として被害を受けるのは市民だ。必要な人材は確保すべきではないか。

市長 いま全体の予算総額を圧縮しており、これまで行ってきた事業を一割・二割カット、スクラップしてくれなど、強い守りの業務を強いている。そのような中で希望や予算を与え、やる気を起こすという状況にいたっていないことは申し訳ないと思っている。ただ、今の財政状況からすれば、スマートな奥州市を作り上げていくというこ

とは避けて通れない道だ。市民や職員に対して、どうあるべきかという説明が不足していたと反省している。

質問 江刺区内の診療所は、存続すべきではないか。どこに住んでいる市民でも、診療所であつても施設・設備が整ったところで医療サービスが受けられることが求められており、そのために国から交付税措置がされているのではないか。

市長 江刺の診療所は平成25年度で廃止する。診療所の整備以前に医師確保がままならない中で、できるだけ医療資源を集中させ、しっかりした医療サービスを行っていきたい。



患者が診療を待っている梁川診療所



いい ざか かず や
飯坂 一也
(公明党)

●協働・共助による除雪を ●迅速な道路の安全対策を

質問 この冬の除雪に関わる問題点と課題は何か。

市長 要望件数の一番多かったのは、除雪路線の追加や早く除雪してほしい等で194件寄せられた。自宅前に雪を置いて行かれた等の苦情が99件、融雪剤の散布及び配布の依頼が45件あった。

質問 今年度の経費は、どの位か。

市長 主に除雪委託料になる。約5億2500万円を見込んでいる。昨年は3億5100万円、一昨年は3億1500万円だった。

質問 除雪は行政や福祉除雪だけでなく、地域の協働・共助による取り組みも必要ではないか。それにより、さまざまな要望に応えられるし、地域の連帯感の向上や活性化にもつながると思うが。

市長 協働により取り組む場合には、実施するための体制づくりが不可欠となる。関係部署や組織と連携し、連絡協議会を早

めに立ち上げ、協議したいと考える。

質問 昨年実施した通学路の対策の継続についてどう考えるか。

市長 教育委員会と関係機関の合同点検について今年度も継続して行う。

質問 歩行者優先の考え方の浸透が大切と考える。一つの施策である「ゾーン30」の推進についてどう考えるか。

市長 歩行者の通行を優先するために、最高速度を時速30kmに規制する「ゾーン30」について、市道花園杉ノ堂線430mの区間を警察が主体で調整中である。



「ゾーン30」が検討中の市道花園杉ノ堂線